

1 題材 「こんなとき電話に出ますか？出ませんか？」

2 本時の指導と児童の活動

(1) 本時のねらい

携帯電話の使い方について、状況に応じた使い方を考えることが大切であることに気付くことができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

付箋紙を使い、対話的な学びとしての意見交流を行うことによって、新たな意見を自分の考えに取り入れ、自分の考えを深めることができるようにする。

(3) 準備 ワークシート、ホワイトボード2枚 ホワイトボードマーカー 付箋紙

(4) 本時の展開

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 場面の状況をつかむ。	○ 全体で声に出して読ませたり、教師が補足したりすることで、場面について共通理解させる。
あなたは大切な人とお話をしています。お話のとちゅうでスマートフォンから電話が！ あなたはそのとき、電話に出ますか？それとも出ませんか？		
8分	2 課題について、自分の考えをワークシートに記述する。	○ どうしてその立場を選んだのか、理由を記述させることで、自分の考えを明確にさせる。
10分	3 立場ごとに分けたホワイトボードに自分の名札を貼り、その名札にその立場を選んだ理由が書かれた付箋紙を付け足す。	○ ホワイトボードを分けることで立場の違いを視覚的に捉えやすいようにし、友達が選んだ理由について興味をもたせる。 ○ 立場を選ぶことができない児童には、友達の理由を参考にして立場を選ぶようにさせる。
10分	4 相手の意見に対する自分の意見を付箋紙に書き、相手の名札に貼ることで意見交流を行う。	○ 異なる立場だけでなく、自分と同じ立場の人の意見についても共感できることがあれば付箋紙に感想を書かせる。
10分	5 意見交流をした後の自分の考えをワークシートに記述する。	○ 付箋紙に書かれた意見を読ませることで、自分と同じ立場の考えや、異なる立場からの考えに気付かせるようにする。 ○ 新しくもった考え、または参考になった理由を中心にして記述させる。
2分	6 教師の話聞く。	○ 利便性が高く、どんな状況でも利用しやすい情報端末であるからこそ、周囲への配慮をもって利用することが大切であることを確認する。
評価事項 友達と意見交流する中で、相手の意見を取り入れ、自分の考えを深めることができたか。 【ワークシートへの記述】 □… 自分が得た考えを、周囲にも啓蒙できる方法はないか考えさせる。 ☆… 友達から貼られた付箋紙の意見を振り返り、教師の助言を得ながら、自分の考えに取り入れられそうな意見を選択するようにさせる。		

※斜体・・・情報活用能力を育成する学習活動